矢口琥太郎さんが県チャンピオンに 中学校陸上競技選手権大会

10月15日、山形市ネッツえがおフィールドにおいて第75回山形県中学校陸上競技選手権大会が開催され、金山中学校2年矢□琥太郎さん(柳原)が男子3000mで見事優勝、男子800mでは2位の成績をおさめました。大会には、最上地区新人陸上大会の予選を勝ち上がった金山中学校の選手11名も参加し、各地の強豪選手を相手に実力を発揮しました。これからも皆さんの活躍に期待します!



▼マップは中央公民館で配布していますのでぜひお声がけください



かねやまウォーキングマップが完成 お気に入りのコースを見つけてみては?

町内9つのウォーキングコースを記した「かねやまウォーキングマップ」が完成しました。町が力を入れている健康づくり事業では、運動を習慣づけるためのウォーキングを推進しています。このマップはその事業の一環として、金山町スポーツ推進委員の皆さんの監修のもと、金山健康ふれあいスポーツクラブで作成しました。マップを片手に、健康に近づくためウォーキングに取り組んでみてはいかがでしょうか。



金山町関係人口創出事業「金山微住プログラム」 「カネヤマノジカンデザインスクール」を実施

今年度、町では、地域との新たな交流のかたち「関係人口」を創出するため の事業に取り組んでいます。

「微住」は、旅行者が滞在先の住民と積極的に関わり、地域と継続的な関係を築くプログラムで、応募した6名のクリエイターが町内に1週間滞在するなかでお世話になった町民との交流によるポスターや動画等の制作、自主企画での交流会の開催などが実施されました。

「カネヤマノジカンデザインスクール」は全3回の連続講座で、「地域づくり」「ローカルデザイン」「サスティナブルな暮らし」などに関心をもち、「ローカルに興味があり、地域の人と顔が見える『関係』をもちたい」という首都圏等の方々と、町民の皆さんがゆるやかにつながることで、それぞれが「金山町との自分らしい関わり方」を模索(デザイン)しています。

どちらも地域の魅力を参加者が感じ、町民との交流のなかでそれぞれが金山町との「関わり」を深めていくきっかけづくりを目的としています。今後も町として交流人口の拡大に加え、「関係人口」を増やすために企画に取り組んでいきます。





◆ ①「微住」での交流会の様子。参加者 と町内の方がデュエットで楽しんだ ②町内商店の方と交流を図り、ポスト

カードを制作した

- ③「デザインスクール」参加者の皆さんが街なかに集合
- ④あいにくの雨だったが落花生の収穫 を体験した参加者





▲神室山など金山の大自然を感じながら力走を見せた参加者たち

まちのわだい

身近なわだい、お寄せください。 総務課 広報情報係 **☎**29-5601

爽やかな秋晴れのもと カムロトレイルラン2022を開催

10月2日、グリーンバレーカムロを会場にカムロトレイルラン2022が開催されました。ファミリー競技1キロからロング競技の43キロまで6種目に県内外の265人が参加し神室が熱気と歓喜に包まれました。昨年の県内限定で開催されたプレ大会を経て、今年は全国規模での大会を形にしました。ゴールテープを切った参加者は「ハードなコースだったけれど山頂付近の尾根は景色がよく気持ちのいいコースだった」と爽やかな汗を拭いながら話していました。

羽場地区ボランティアグループ 長寿を祝うお弁当を配達

10月2日、羽場地区ボランティアグループが78歳以上の52名の地区の皆さんに「長寿弁当」を配布しました。コロナウイルス感染防止のため地区の長寿を祝う会は中止となった中でも、人と人との繋がりを大事にしたいと実施。「大切な人にいつまでも元気でずっと笑顔でいてほしい」という温かいメッセージとともに、玄関先での少しの会話を楽しみながら弁当を配布しました。



▲弁当を手に喜ぶ高齢者と羽場地区ボランティアグループの皆さん

▼南北の改亭選手と討合をし、経験を積んだ全山の選手たち



金山小児童が大健闘 東北小学生ソフトテニス大会

10月2日、第32回東北小学生学年別ソフトテニス大会が福島県あづま総合運動公園テニスコートにおいて開催されました。大会には、金山小学校6年佐藤嘉乃さん(板橋)、5年柴田結月さん(七日町)、4年柴田志乃さん(稲沢)の3名が出場しました。惜しくも入賞とはなりませんでしたが、東北の強豪選手を相手に大健闘しました。今後の活躍が大いに期待されます。頑張ってください!

① 広報かねやま 2022.11